

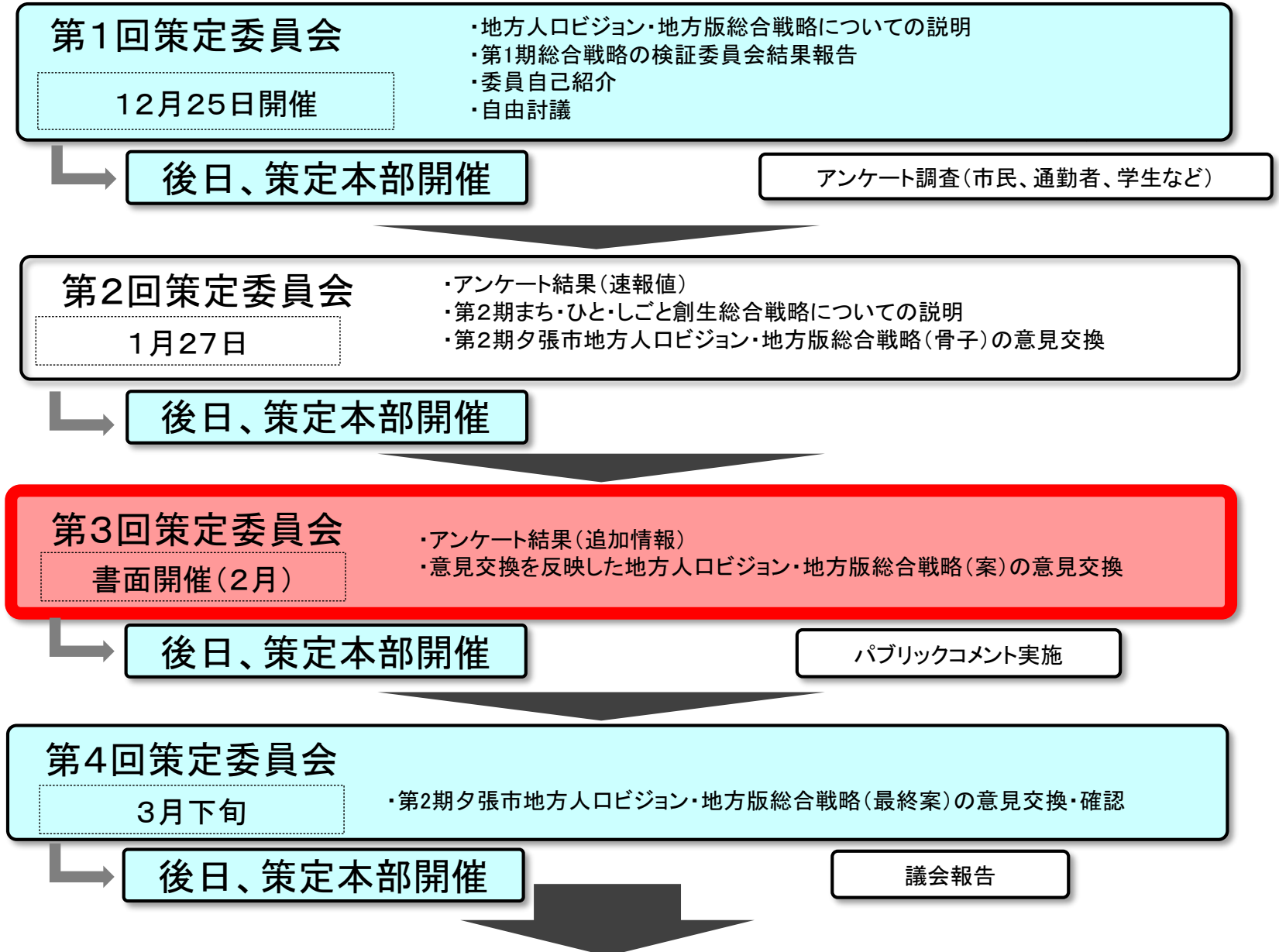
第2期夕張市地方人口ビジョン及び地方版総合戦略  
策定委員会  
＜第3回＞

事務局提出資料

---

令和2年2月  
夕張市地域振興課

# 第2期夕張市地方人口ビジョン・地方版総合戦略策定スケジュール(案)



第2期夕張市地方人口ビジョン・地方版総合戦略の策定

## 第2回策定委員会(1月27日開催)における主な議論について①

### 【第2期総合戦略の素案作りに係る意見】

#### < Aグループ >

##### (まちづくり)

- 第2期では清水沢地区はもちろんのこと、北部や紅葉山地区のあり方についても考えた方が良いのではないかと。例えば北部は博物館、スキー場、スポーツ施設など。紅葉山地区はまちの玄関口として将来像を描いていくのがよいのではないかと。
- まちをコンパクト化するには、人のつながりの観点を持つことが重要ではないかと。知り合いが周りにいない、町内会もないだと幸せに暮らせないと。
- 大きい町内会でさえ運営が危ぶまれている状況である。行政の何かしらのサポートが必要ではないかと。また、防災の観点からも地域のつながり(町内会)は重要ではないかと。
- たとえばITや5Gなどを視野に入れてまちづくりをして、夕張から発信していくような、今までにない発想でまちづくりをしていくのがよいのではないかと。そのためには通信インフラについても考えていく必要があるのではないかと。

##### (医療・福祉)

- 第1期で足りないと感じている分野は医療の面ではないかと。専門科(とくに小児科)のニーズが高いと感じる。
- 妻が里帰り出産せざるを得なかったため、非常に大変な思いをした。2人目を躊躇するほどである。
- Society5.0の考え方から、オンライン診療などができるとういのではないかと。
- 介護施設等のハード面は、近隣自治体より充実している。ソフト面、特にマンパワーが不足しているのではないかと。
- 在宅(介護)の高齢者の方は、家族の意向もあって転出していくが、夕張で暮らしたいと考えている人も多く、見守りの体制さえあれば残れる人も多いのではないかと。

## 第2回策定委員会(1月27日開催)における主な議論について②

- 地域の見守りのためには、町内会が重要な役割を持つと考えるが、地域によって活動の格差が生じているため、行政のサポートが必要ではないか。
- (交流人口・関係人口)
- 夕張会の方々から「力になりたいが何をすればいいか」と問われることもあり、どのように力をいただけるかといった観点で今後議論していくことが必要ではないか。
  - ダム、スキー場、産業遺産などを活かした(体験型)観光で、夕張を通過していた人の足を止めるという観点が必要ではないか。
  - 継続してイベントがあれば、市内の人の繋がりづくりにもなるのではないか。
  - 行政は基本的には情報発信などの役割を担うのがよいのではないか。
  - 若い人は自分たちとは違う目線、発信力がある。中高生や企業の若手を活用して、夕張の魅力の発信をしてはどうか。情報発信を通して、夕張の幸せな暮らし、魅力が伝わっていくとよいのではないか。
  - 中高生が夕張の魅力を探し、映像を撮ってもらい、情報発信をするプロジェクトを考えている。これを通して、中高生が夕張のことをポジティブな発信ができるようになるのではないか。
- (雇用)
- 市内企業にもまだまだ雇用できる場所はあるが、地元採用が難しい状況(応募者が少ない)という話もある。そうしたことも考えながら、まちづくりについて議論した方がよいのではないか。
  - 市内で働く人のために、市営住宅の入居要件の緩和等も考えた方がよいのではないか。

### <Bグループ>

(まちづくり)

- 住宅の整備は成果も出ており、引き続き取り組むべきではないか。

## 第2回策定委員会(1月27日開催)における主な議論について③

○ コンパクトシティ化は各地域のバランスを見ながら行うべきではないか。

○ 老朽化した水道管の補修・更新等、インフラ整備をしっかりと行った方が良いのではないか。

(交流人口・関係人口)

○ スキー場の冬季利用者の75%は日帰り客であり、夕張に来て来訪先がレースイのみで他の店に行っていない。欧米人の旅行は長期滞在するケースが多いので、夕張をまわってもらえるようなものを考えていく必要があるのではないか。

○ 市もPR活動をもっと積極的に行った方が良いのではないか。行政が外から人を呼び込むという意思を示すことが大事ではないか。

○ サッカー場の利用者もリピーターが多い。また、人のネットワークによる利用も多い。こうしたところに着目してスポーツ施設の活用を促進することが大事ではないか。

○ スキー留学等、市の特徴を活かした取組ができないか。

(医療・福祉)

○ 夕張は札幌から日帰りできるので、専門医師を招いて診療科目を増やすことは可能ではないか。

(雇用)

○ ハローワーク利用者は高齢者が多く、求人の条件と合わないことがあるので、シルバー人材センターの利用促進等を図ってみるのもよいのではないか。

○ 夏場のメロン収穫時期は中国から70名の実習生を受け入れており、この労働力がないと成り立たない。住宅の問題や受入環境の整備等、市と連携して取り組んでいくのがよいのではないか。

(移住・定住)

○ 田舎暮らしが好きな人へ特化してアピールしてみるのもよいのではないか。

# ＜第2期夕張市地方人口ビジョン及び地方版総合戦略(素案)＞



# 第2期夕張市総合戦略素案の概要①

## 第1期 戦略の柱

### 【戦略1】 若者の定住と 子育て支援

戦略の見直しの背景・根拠	
第1期検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単身者以外の需要にも応えられる住宅整備</li> <li>・保育人材の確保</li> <li>・子どもの医療体制の充実</li> </ul>
委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の福祉の視点</li> <li>・地域(町内会等)による高齢者の見守り</li> <li>・医療環境(特に専門科等)の充実</li> <li>・住宅整備の継続</li> <li>・医療、介護人材の確保</li> </ul>
アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・福祉の充実</li> <li>・医療環境(救急等)の充実・専科(小児科等)の充実</li> <li>・住宅(家族世帯・単身)の整備</li> <li>・市営住宅の収入要件等の緩和</li> <li>・住宅等情報の発信強化</li> <li>・高齢者の活動・居場所づくり</li> <li>・子育て情報の発信強化</li> </ul>
国の第2期総合戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援システム構築の推進</li> <li>・スマートウェルネス住宅整備の支援</li> <li>・周産期医療体制の確保</li> </ul>

## 第2期 戦略の柱

### 【戦略1】 誰もが安心して暮 らせる環境づくり

第1期アクションプラン	方向性	第2期アクションプラン
① 若年層・女性向け低家賃賃貸住宅の整備	継続(②へ)	① 安心の地域医療体制の構築
② 子育て世帯向け住宅取得・リフォーム支援事業	継続(③へ)	② 若年層・女性向け低家賃賃貸住宅の整備
③ 子育て世帯の公営住宅への入居緩和	実施済のため 削除	③ 子育て世帯向け住宅取得・リフォーム支援事業
④ 子育て支援センターの整備による子育て支援体制の強化	継続(⑤へ)	④ 情報発信強化による不動産の流動化促進
⑤ 廃校や生活館を活用した地域コミュニティ機能の拡充(集落拠点)	継続(戦略5-③へ統合)	⑤ 認定こども園等を活用した子育て支援体制の強化
⑥ 空き市営住宅を活用した障がい者自立支援住宅の整備	継続(③へ)	⑥ 子どもたちの居場所づくり
⑦ 遊休市有地を活用したサービス付き高齢者向け住宅の誘致	削除	⑦ 子育て世帯の経済的負担の軽減(新規)
⑧ 空家バンク制度を活用した不動産の流動化促進	継続(④へ)	⑧ 高齢者の活動の場・居場所づくり(新規)
⑨ 認定こども園の整備	継続(⑤へ)	⑨ 空き住戸となっている市営住宅を活用したグループホーム事業への活用
⑩ こども達が集う公園整備	継続(⑥へ)	
⑪ こども一時預かり機能の強化	継続(⑤に統合)	

### 【戦略2】 新たな人の流れ・ 交流人口の創出

第1期検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ施設と宿泊施設との連携</li> <li>・市への波及効果が高い関わり人口の拡大</li> </ul>
委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダム、スキー場、スポーツ施設、産業遺産等を活かした(体験型)観光の推進</li> <li>・行政による情報発信の強化</li> <li>・観光客の市内周遊促進</li> </ul>
アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある観光・交流イベント(自然を活かした体験イベント等)づくり</li> <li>・観光施設の保全</li> <li>・広域観光の推進</li> <li>・夕張の魅力発信の強化(広報タ張含む)</li> <li>・道の駅の改善、活用</li> </ul>
国の第2期総合戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地域づくり法人の育成</li> <li>・インバウンド対応</li> <li>・文化財の保全と活用、魅力発信</li> <li>・関係人口拡大に向けた中間支援組織の育成等</li> <li>・ふるさと納税の促進</li> </ul>

### 【戦略2】 新たな人の流れ・ 関係人口・交流人 口の創出

① 「活動人口」と「関わり人口」を繋ぐ地域交流プラットフォームづくり	継続(⑥に統合)	① 地域資源を活用した交流人口の拡大
② みんなの力でつくる「石炭博物館再生プロジェクト」	継続(②へ)	② 産業遺産ツーリズムとしての「石炭博物館」「清水沢プロジェクト」
③ 産業遺産ツーリズム拠点としての「清水沢プロジェクト」	継続(②へ)	③ スポーツ交流等の促進
④ 総合スポーツクラブ設置によるスポーツ交流ビジネス創出	継続(③へ)	④ 道の駅の魅力向上(新規)
⑤ 廃校や空き店舗を活用した起業家支援	継続(戦略3-⑤に統合)	⑤ 空知総合振興局及び管内市町村との広域連携
⑥ 廃校や遊休施設を活用した合宿誘致の推進・市民の健康増進事業	継続(③に統合)	⑥ 関係人口の創出
⑦ 外部人材を活用した「活動人口」の創出	継続(⑥に統合)	⑦ つながりを築くふるさと納税の促進(新規)
⑧ 「幸福の黄色いハンカチひろば」再生プロジェクト	継続(①に統合)	
⑨ 桜育樹プロジェクト	削除	
⑩ 空知総合振興局及び管内市町村との広域連携	継続(⑤へ)	
⑪ 学生と連携した地域の魅力掘り起こし	①又は戦略4-①、②、③へ統合	

# 第2期夕張市総合戦略素案の概要②

## 戦略の柱

## 戦略の見直しの背景・根拠

## 第2期 戦略の柱

## 第1期アクションプラン

## 方向性

## 第2期アクションプラン

【戦略3】  
地域資源を  
活用した  
働く場づくり

第1期検証	・林業の継続的な取組推進 ・障がい者雇用について、事業所と求職者のマッチング支援及び能力育成支援
委員会意見	・高齢者・子育てママの雇用の視点 ・地域資源を活かした仕事づくり ・外国人実習生や農業サポーター等受け入れのための環境整備による労働力確保
アンケート	・雇用・働く場の確保 ・人材の確保・育成 ・企業誘致、地元企業への支援 ・就業支援 ・資格取得、創業への支援
国の第2期総合戦略	・地域の強みを活かした産業振興 ・働きやすい雇用環境

【戦略3】  
地域資源を  
活用した  
働く場づくり

- |   |         |                         |
|---|---------|-------------------------|
| ① 高齢者や子育てママが働きたいと思う仕事づくり                  | 継続 (⑤へ) | ① 農業者、農協、市の連携による産地力強化   |
| ② 農業者、農協、市の連携による産地力強化                     | 継続 (①へ) | ② 日本一の栗木産地に向けた基盤整備      |
| ③ 市有林を活用した栗木産地化への挑戦                       | 継続 (②へ) | ③ 森林資源活用型の地域人材育成        |
| ④ 広域連携を通じた森林資源のフル活用・循環利用サイクル確立による雇用創出     | 継続 (③へ) | ④ りり山(石炭)を活用した稼ぐ防災事業の推進 |
| ⑤ りり山(石炭)を活用した稼ぐ防災事業の推進                   | 継続 (④へ) | ⑤ 誰もが活躍できる働く場づくり        |
| ⑥ 炭層メタンガス(CBM)の開発支援やCBMを活用した地場農作物の生産効率化研究 | 削除      | ⑥ 障がい者の就労の場確保           |
| ⑦ 障がい者の就労の場確保                             | 継続 (⑥へ) |                         |

【戦略4】  
夕張の未来を  
創るプロジェクト

第1期検証	・夕張高校でしかできない取組のアピール
委員会意見	・IT、5G等の技術を活かしたまちづくり ・中高生による夕張の魅力発信
アンケート	・基礎学力の向上 ・郷土愛教育の推進 ・教育に係る経済的負担の軽減 ・情報社会に適合した教育の充実
国の第2期総合戦略	・高等学校の機能強化 ・情報通信基盤の整備、デジタル人材の育成・確保

【戦略4】  
夕張の未来を  
創るプロジェクト

- |                          |               |                                  |
|--------------------------|---------------|----------------------------------|
| ① 小中高連携による郷土愛教育の推進       | 継続            | ① 小中高連携による郷土愛教育の推進               |
| ② 学習塾と連携した学習意欲向上プロジェクト   | 継続 (③に統合)     | ② 小中学生の可能性を伸ばすプロジェクトの創出(新規)      |
| ③ 課題から希望を創る高校魅力化プロジェクト   | 継続 (③へ)       | ③ 高校魅力化プロジェクトの推進                 |
| ④ ITを活用した既存産業の付加価値化・人材育成 | 継続 (④へ)       | ④ 未来技術を活用した地域課題への取組とデジタル人材の育成・確保 |
| ⑤ 石炭産業の歴史と文化映像化・語り継ぐ事業   | 継続 (戦略2-②に統合) |                                  |
| ⑥ 地域を活性化させるためのキャリア教育     | 継続 (②, ③に統合)  |                                  |

【戦略5】  
持続可能な  
まちづくり  
(コンパクト化・  
拠点形成)

第1期検証	・南北軸の計画の検討
委員会意見	・拠点の作り方、庁舎の位置の議論 ・コンパクト化に当たっては、人のつながりの観点 が重要 ・町内会に対する行政のサポート
アンケート	・町内会活動の活発化 ・コンパクトシティの推進 ・飲食店、商業施設、娯楽の充実 ・公共交通の充実
国の第2期総合戦略	・都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成 ・周産期医療体制の確保 ・地域包括支援システム構築の推進 ・地域住民による地域運営組織の形成促進 ・地域防災の確保 ・全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」

【戦略5】  
持続可能な  
まちづくり  
(コンパクト化・  
拠点形成等)

- |                                       |             |                            |
|---------------------------------------|-------------|----------------------------|
| ① 都市拠点機能の整備によるコンパクトシティの推進             | 継続          | ① コンパクトシティの推進              |
| ② 安心の地域医療体制の構築                        | 継続 (戦略1-①へ) | ② 持続可能な交通体系の維持             |
| ③ 補てん型から利用型の公共交通体系の構築(交通結節点整備・デマンド交通) | 継続 (②へ)     | ③ 官民協働によるまちづくり(新規)         |
| ④ 公共施設の更なるスリム化と活用ストックの機能充実            | 継続          | ④ 公共施設の更なるスリム化と活用ストックの機能充実 |
|                                       |             | ⑤ 持続可能な行政体制の構築(新規)         |